

【社会マネジメント学科】アセスメント・チェックリスト

■達成すべき水準

【DP1】学士力1：知識	知識・理解（人や社会の持つ特性や仕組み、多文化・異文化、文化、社会、自然）
【DP2】学士力2：技能	汎用的技能（発想力、コミュニケーション・スキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決能力）
【DP3】学士力3：態度	態度・志向性（先入観の排除、協働しつつ個性を発揮、共感しつつ成長、自己管理能力、チームワーク、リーダーシップ、倫理観、社会的責任、生涯学習力）
【DP4】学士力4：実践力	総合的な学習経験と創造的思考力（多角的な視点から新しいことを生み出す力）
【DP5】専門力1：自立した女性の知性	自立した女性に必要な教養と社会の諸問題を読み解く力を身につけている。
【DP6】専門力2：企画・実行力	総合的な観点から、地域や社会の諸問題の解決策を企画、提案、実行に移すことができる。
【DP7】専門力3：多様性の理解と実践	自分自身や他人を理解し、地域や社会のなかで多種多様な出自、経歴、境遇、考え方などを持つ人々とコミュニケーションを図り、協調・協働して、明るくあたたかい安心な社会の実現に向けて行動できる。

	可視化手段	実施時期・周期	対象	可視化手段の概要	結果の活用方法（PDCA）
1	学修振り返りアンケート	毎年、各学期末	学生	授業科目ごとに実施するアンケート 授業に取り組む姿勢、授業の内容の理解、授業の到達目標の達成度等	（学修者レベル） 学修改善 （授業レベル） 授業、個別指導とその改善
2	成績を用いたD P 達成度の可視化	毎年、各学期末	学生	科目とD P の対照表を用いて、各学生に対し、D P 毎のG P A、学修量を算出するもの	（学修者レベル） 学修改善 （学科レベル） 各D P の平均的な達成度、伸びの検証 （学科レベル） 各D P と授業科目のバランスの検証 （学科レベル） カリキュラムマネジメント
3	学生によるDP達成度の自己評価 （2026年度中に試行）	毎年、各学期末	学生	D P ルーブリック（4段階）を基に学生がD P の達成状況の自己評価するもの	（学修者レベル） 学修改善 （学科レベル） 各D P の平均的な達成度、伸びの検証 （学科レベル） 各D P と授業科目のバランスの検証 （学科レベル） カリキュラムマネジメント
4	成績分布	毎年、各学期末	学生	GPAの分布、各科目の成績分布、単位取得状況	（学修者レベル） 学修改善 （授業レベル） 授業、個別指導とその改善 （学科レベル） 各科目の成績分布等の検証
5	P R O G	1年、3年次（希望者のみ）	学生	1年、3年次（希望者のみ）に行う外部テストで、社会で活躍するための汎用的能力を測定するもの	（学修者レベル） 学修改善 （学科レベル） P R O G と G P A の関係分析
6	卒業年次生アンケート	毎年、卒年次	学生	卒業することが決定した学生を対象に実施するアンケート 学修成果として定めている力（学士力・専門力）の達成度、在学期間における成長実感、教育内容および学修環境に対する満足度等	（学科レベル） カリキュラムマネジメント
7	進路状況調査	毎年、卒年次	学生	卒業生の進路状況	（学科レベル） カリキュラムマネジメント

【人間心理学科】アセスメント・チェックリスト

■達成すべき水準

旧カリキュラム	【DP1】学士力1：知識	知識・理解（人や社会の持つ特性や仕組み、多文化・異文化、文化、社会、自然）
	【DP2】学士力2：技能	汎用的技能（発想力、コミュニケーション・スキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決能力）
	【DP3】学士力3：態度	態度・志向性（先入観の排除、協働しつつ個性を発揮、共感しつつ成長、自己管理能力、チームワーク、リーダーシップ、倫理観、社会的責任、生涯学習力）
	【DP4】学士力4：実践力	総合的な学習経験と創造的思考力（多角的な視点から新しいことを生み出す力）
	【DP5】専門力1：心理学の基礎・応用	心理学的な人間理解の方法について知識と能力を持ち、それを様々な場面に応用することができる。
	【DP6】専門力2：対人支援力	心身の問題、生活上の困難などを抱える人々に対する理解を持ち、適切な援助につなぐことができる。
	【DP7】専門力3：心身のウェルビーイング	心と身体の仕組みを理解し、人間を心身両面から捉え、支えることができる。
	【DP8】専門力4：全体性理解	身体性への気づきやスピリチュアリティへの理解を深め、人間の全体性への理解につなげることができる。
	【DP9】専門力5：社会と文化	人間の様々な営みについて、文化的・社会的視点から多角的に捉え、分析し、理解することができる。
	【DP10】専門力6：多様性の尊重と協働	多種多様な人々を受け入れ、理解しようとする姿勢を持って、他者と関わることができる。
	【DP11】専門力7：論理的・客観的思考	論理的・批判的に思考する態度を身につけ、ものごとを客観的に捉えることができる。
新カリキュラム	【DP5】専門力1：対人支援力	心の問題や支援制度の知識、共感的理解の態度など、対人支援において不可欠な専門知識と技能を修得している。
	【DP6】専門力2：心身のウェルビーイング	心身のウェルビーイング、スピリチュアリティ向上に資する知識や態度を有し、必要な技能を修得している。
	【DP7】専門力3：こころの科学	科学的視点から人間を理解しようとする態度を有し、必要な知識、技能を修得している。
	【DP8】専門力4：社会と文化	人間の様々な営みについて、文化的・社会的視点から多角的に捉え、分析し、理解することができる。
	【DP9】専門力5：倫理・批判	さまざまな物事を論理的、批判的、かつ多角的に捉え、分析できる。
	【DP10】専門力6：応用力	自身が持つ知識や技能をさまざまな場面に応用し、適切な支援や問題解決に繋げることができる。
※旧カリキュラム（2021～2023年度入学生）、新カリキュラム（2024年度入学生～）		多様性を尊重し、理解しようとする姿勢を持って、他者と関わることができる。

	可視化手段	実施時期・周期	対象	可視化手段の概要	結果の活用方法（PDCA）
1	学修振り返りアンケート	毎年、各学期末	学生	授業科目ごとに実施するアンケート 授業に取り組む姿勢、授業の内容の理解、授業の到達目標の達成度等	学生の理解度や学修到達感を把握する。授業改善やシラバス内容の見直しに活用するとともに、DPとの対応関係を確認する補助的資料として用いる。
2	成績を用いたDP達成度の可視化	毎年、各学期末	学生	科目とDPの対照表を用いて、各学生に対し、DP毎のGPA、学修量を算出するもの	学修成果の偏りや課題の把握に用いるとともに、ゼミナール配属の際の参考資料、カリキュラム改善や学修指導の基礎資料として活用する。
3	学生によるDP達成度の自己評価（2026年度中に試行）	毎年、各学期末	学生	DPルーブリック（4段階）を基に学生がDPの達成状況の自己評価するもの	学修成果の偏りや課題の把握に用いるとともに、ゼミナール配属の際の参考資料、カリキュラム改善や学修指導の基礎資料として活用する。
4	成績分布	毎年、各学期末	学生	GPAの分布、各科目の成績分布、単位取得状況	入試形態（総合型、指定校入試）とGPAとの関連を見て、学生募集の方針の参考資料として使用する。今後は、DPとの関連を考慮し、評価基準の統一、点検を行う際の資料として活用する。
5	PROG	1年次、3年次（希望者のみ）	学生	1年、3年次（希望者のみ）に行う外部テストで、社会で活躍するための汎用的能力を測定するもの	（学修者レベル） 学修改善 （学科レベル） PROGとGPAとの関係分析
6	卒業年次生アンケート	毎年、卒年次	学生	卒業することが決定した学生を対象に実施するアンケート 学修成果として定めている力（学士力・専門力）の達成度、在学期間における成長実感、教育内容および学修環境に対する満足度等	学科教育への満足度を把握するための資料として利用している。
7	ピアヘルパー受験者・合格者数	毎年、卒年次	学生	民間資格試験の受験者数、合格者数	学生の志向の動向確認に利用
8	社会福祉士国家資格合格率	毎年、卒年次	学生	国家資格試験の受験者・合格者数	社会福祉士課程の教育成果の確認、学生募集時の参考資料

【地域クリエーション学科】アセスメント・チェックリスト

■達成すべき水準

【DP1】学士力1：知識	知識・理解（人や社会の持つ特性や仕組み、多文化・異文化、文化、社会、自然）
【DP2】学士力2：技能	汎用的技能（発想力、コミュニケーション・スキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決能力）
【DP3】学士力3：態度	態度・志向性（先入観の排除、協働しつつ個性を発揮、共感しつつ成長、自己管理能力、チームワーク、リーダーシップ、倫理観、社会的責任、生涯学習力）
【DP4】学士力4：実践力	総合的な学習経験と創造的思考力（多角的な視点から新しいことを生み出す力）
【DP5】専門力1：食文化、食材、調理、食品衛生、公衆衛生など食に関する広範な基礎知識に加え、地域における持続可能な食の供給および観光サービスの提供を担えるような地域文化、気象・環境、経済・経営、法律・倫理などの基礎知識を習得する。	
【DP6】専門力2：これらの知識をもとに、居住者および国内外からの来訪者がともに安心・安全に過ごせるようなおもてなしを実践できる能力を有する。	
【DP7】専門力3：地域資源を発掘し、活用するとともに、当該資源にまつわるストーリーを構築して、居住者および国内外からの来訪者双方に対しわかりやすく情報発信できる能力を有する。	
【DP8】専門力4：ひとたび有事の際には、食品衛生、公衆衛生、情報発信などの知識を活かして、居住者および国内外からの来訪者双方を安全に避難させられるような潜在力を持つ。	

	可視化手段	実施時期・周期	対象	可視化手段の概要	結果の活用方法（PDCA）
1	学修振り返りアンケート	毎年、各学期末	学生	授業科目ごとに実施するアンケート 授業に取り組む姿勢、授業の内容の理解、授業の到達目標の達成度等	学修改善（学修者レベル） 授業、個別指導とその改善（授業レベル） 平均的な授業目的の達成度の検証（学科レベル） カリキュラムマネジメント（学科レベル）
2	成績を用いたD P 達成度の可視化	毎年、各学期末	学生	科目とD P の対照表を用いて、各学生に対し、D P 毎のG P A、学修量を算出するもの	学修改善（学修者レベル） 授業、個別指導とその改善（授業レベル） 各D P の平均的な達成度、伸びの検証（学科レベル） 各D P と授業科目のバランスの検証（学科レベル） カリキュラムマネジメント（学科レベル）
3	学生によるDP達成度の自己評価 （2026年度中に試行）	毎年、各学期末	学生	D P ルーブリック（4段階）を基に学生がD P の達成状況の自己評価するもの	学修改善（学修者レベル） 授業、個別指導とその改善（授業レベル） 各D P の平均的な達成度、伸びの検証（学科レベル） カリキュラムマネジメント（学科レベル）
4	成績分布	毎年、各学期末	学生	GPAの分布、各科目の成績分布、単位取得状況	学修改善（学修者レベル） 授業、個別指導とその改善（授業レベル） 各科目の成績分布等の検証（学科レベル） カリキュラムのマネジメント（学科レベル）
5	P R O G	1年、3年次（希望者のみ）	学生	1年、3年次（希望者のみ）を行う外部テストで、社会で活躍するための汎用的能力を測定するもの	学科の該当学年全学生に受検を義務付け（学修者レベル） 学修改善（学修者レベル） 授業、個別指導とその改善（授業レベル） P R O G とG P A の関係分析（学科レベル） P R O G と学生の参加活動との間の関係分析（学科レベル） カリキュラムマネジメント（学科レベル）
6	卒業年次生アンケート	毎年、卒年次	学生	卒業することが決定した学生を対象に実施するアンケート 学修成果として定めている力（学士力・専門力）の達成度、在学期間における成長実感、教育内容および学修環境に対する満足度等	授業、個別指導とその改善（授業レベル） カリキュラムマネジメント（学科レベル）
7	進路状況調査	毎年、卒年次	学生	卒業生の進路状況	授業、個別指導とその改善（授業レベル） P R O G と学生の参加活動、キャリアとの間の関係分析（学科レベル） カリキュラムマネジメント（学科レベル）